

ゾーニング研修を通じて感染対策強化中！

新型コロナウイルス感染症の広がりが懸念される中、近江ちいば会の各事業所でも感染対策が進められています。万が一、ケアハウスやグループホームなどの入所系サービスで感染があった場合を想定し、感染を最小限に抑えるためにゾーニングの検討を進めておりました。

今回、滋賀医科大学 感染管理認定看護師 特定看護師(感染症管理領域)の金城真一先生をお招きして、zoomでの事前研修と実際に各事業所をみていただきゾーニングについてご指導いただきました。



2月
17日

感染予防対策・ゾーニングについて 研修を行いました

ZOOMでの事前研修は、約70名の職員が各事業所や自宅等で、密にならない環境の中で受講しました。

感染症対策の基本からはじまり、新型コロナウイルス感染症とは何か、そしてゾーニングについて丁寧に説明していただきました。

感染対策を行う目的、新型コロナウイルスが感染を広げるタイミングや、なぜマスクが必要なのか？個人防護具の正しい着脱、そしてゾーニングの考え方と私たち介護施設で働く者にとっては目から鱗の内容でした。



5月
21日

ゾーニング現地研修を行いました

金城先生にご来訪いただき、入所施設を中心に現地にて研修をしていただきました。

すでに、各施設では感染対策の一環として事業所に応じたゾーニング案を立案しており、それをもとに金城先生には施設を見ていただきました。

当日は、職員から様々な質問が出る中、的確なアドバイスをいただき、できていること、改善しなければいけないことが明確になりました。今後、シミュレーションを繰り返して、さらに感染対策を進めていきたいと思っております。

